

臨床栄養学

基礎編

第3版

◆ 序 本田佳子, 曾根博仁

第1章

臨床栄養学の基礎

本田佳子 12

1 意義と目的 13	2 疾患と栄養 16
A. 内部環境の恒常性と栄養支援 14	A. 疾患の成因としての栄養 16
B. 自然治癒の促進 15	B. 生活習慣病 17
C. 傷病者や要支援・要介護者への栄養ケア 15	C. 疾患の結果（病態）としての栄養障害 17
D. 症状の悪化・再発の防止 15	
E. 症状の改善 15	
F. 摂食支援 16	
G. 社会的不利とノーマライゼーション 16	
H. QOL（生活の質，人生の質）の向上 16	
I. ターミナルケア（終末期医療） 16	

Advanced リスボン宣言に示された患者の権利 18

第2章

チーム医療，在宅医療

鞍田三貴(1~2), 清水扶美(3・4D・5D) 20
井尻吉信・山東勤弥(4A~C・5A~C)

1 チーム医療，栄養サポートチーム (NST) 21	4 医療における倫理 27
A. さまざまなチーム医療 21	A. 生命倫理，医の倫理，守秘義務 27
B. わが国の栄養サポートチーム (NST) 21	B. 患者・障害者の権利・心理 27
C. NSTにおける管理栄養士の役割 22	C. インフォームド・コンセント 28
2 クリニカルパスと栄養ケア 22	D. リスクマネジメント 28
A. クリニカルパスの意義と歴史 22	5 福祉・介護と在宅医療 30
B. クリニカルパスの役割 22	A. 国際疾病分類 (ICD)，国際障害分類 (ICIDH)，国際生活機能分類 (ICF) 30
3 医療保険制度 24	B. ノーマライゼーション 31
A. 医療保険制度における入院時食事療養制度・栄養食事指導料 24	C. 在宅医療，訪問看護 32
	D. 介護保険制度における基本食事サービス 32

Advanced 『かかりつけ医』と『病院』の連携 37

第3章 栄養ケアマネジメント

水元 芳・安武健一郎 40

- | | | | |
|------------------------------|----|--------------------------------------|----|
| 1 栄養ケアマネジメントの概要 ————— | 41 | 2 栄養ケアマネジメントの過程 ————— | 42 |
| A. 栄養ケアマネジメントの必要性 | 41 | A. 傷病者の栄養ケアマネジメントと
栄養管理プロセス | 42 |
| B. 栄養ケアマネジメントの定義 | 41 | B. 要支援者・要介護者の栄養ケアマネジメント
と栄養管理プロセス | 45 |
| C. 栄養管理プロセスの概要 | 41 | | |

Advanced

世界規模での低栄養の診断基準 GLIM 基準
..... 49

第4章 栄養アセスメント

竹内真理 52

- | | | | |
|-------------------------------------|----|----------------------------------|----|
| 1 栄養アセスメントの意義と目的 ————— | 53 | 6 食生活状況の把握 ————— | 66 |
| A. 傷病者の栄養アセスメント | 53 | A. 調査方法 | 67 |
| B. 要支援者・要介護者の栄養アセスメント | 53 | B. 評価方法 | 68 |
| 2 栄養スクリーニング ————— | 54 | C. 外来患者への調査 | 68 |
| A. 栄養スクリーニングの意義 | 54 | D. 入院患者への調査 | 68 |
| B. 栄養スクリーニングの方法 | 54 | E. その他の評価方法 | 69 |
| 3 フィジカルアセスメント ————— | 55 | 7 栄養アセスメント ————— | 69 |
| A. 主観的評価 | 55 | A. エネルギーのアセスメント | 69 |
| B. 包括的評価 | 56 | B. たんぱく質のアセスメント | 69 |
| C. 臨床診査（自覚症状の観察） | 56 | C. 脂質のアセスメント | 70 |
| D. 病歴聴取（主訴・現病歴（現症）・既往歴・
家族歴・生活歴） | 59 | D. 炭水化物のアセスメント | 70 |
| 4 臨床検査 ————— | 60 | E. 水分のアセスメント | 71 |
| A. 栄養状態の評価指標 | 60 | F. ビタミンのアセスメント | 71 |
| B. 病態の評価指標 | 62 | G. 無機質（ミネラル）のアセスメント | 71 |
| 5 身体計測 ————— | 63 | H. 総合的な栄養のアセスメント
（健康・栄養問題の決定） | 71 |
| A. 計測項目 | 63 | | |
| B. エネルギーの貯蔵状態のアセスメント | 66 | | |
| C. 体たんぱく質の貯蔵状態のアセスメント | 66 | | |

Advanced

施設における栄養アセスメント 73

第5章

栄養ケア計画のプロセス

佐藤敏子・宮本佳代子

75

1 栄養ケアの目標設定	76	3 栄養ケアの実施内容	81
2 栄養ケア計画	76	A. 治療における栄養食事療法の意義	81
A. 必要栄養量の設定	76	B. 病院における栄養補給法の種類	81
B. 栄養補給法の選択	81	C. 保健機能食品と特別用途食品の活用	82
		Advanced 加工食品の食塩相当量の表示	84

第6章

栄養・食事療法，栄養補給法の方法

金胎芳子 (1~2)
鎌田由香 (3~4)

86

1 食事療法と栄養補給	87	E. 投与方法	99
A. 栄養・食事療法と栄養補給法の歴史と特徴	87	F. 経腸栄養補給に必要な器具・機械	99
B. 食事療法と栄養療法の特徴	88	G. モニタリングと再評価	99
C. 栄養補給法の選択	88	H. 経腸栄養の合併症と対策	100
2 経口栄養補給法	90	I. 在宅経腸栄養管理	100
A. 目的	90	4 経静脈栄養補給法	101
B. 治療食と介護食	90	A. 目的	101
C. 治療食の種類	90	B. 適応疾患	101
D. 治療食の疾患別分類と主成分別分類	90	C. 投与方法・経路	101
E. 一般治療食（常食，軟食，半固形食，流動食）	91	D. 経静脈栄養剤の種類と成分	102
F. 特別治療食	95	E. 栄養補給量の算定方法	104
G. 食品選択と献立作成	96	F. 栄養補給に必要な器具・機械	105
3 経腸栄養補給法	96	G. モニタリングと再評価	105
A. 目的	96	H. 経静脈栄養の合併症と対策	105
B. 適応疾患と禁忌	96	I. 在宅静脈栄養管理	105
C. 投与方法・経路	96	Advanced 疾患別の診療・治療ガイドライン	107
D. 経腸栄養剤の種類と成分	97		

第7章 薬と栄養・食物の相互作用

中島 啓 110

- 1 薬と栄養・食物の相互作用を学ぶ意義** 111
- 2 栄養・食物が医薬品に及ぼす影響** - 111
- A. 薬物動態学的相互作用 111
- B. 薬理学（薬力学）的相互作用 114
- 3 医薬品が栄養・食事に及ぼす影響** - 115
- A. 味覚，食欲，栄養素の消化・吸収・代謝・排泄に及ぼす薬物の作用 115
- B. 水・電解質に及ぼす薬物の作用 118
- Advanced** NSAIDs の副作用が主作用！？ 120

第8章 栄養ケアの記録

久保ちづる 122

- 1 栄養ケアの記録** 123
- 2 問題志向型システム (POS) の活用** - 123
- A. 問題 (problem) 123
- B. 志向 (oriented) 123
- C. システム (system) 125
- 3 SOAP に基づく記録** 125
- A. S (subjective data, 主観的情報) 126
- B. O (objective data, 客観的情報) 126
- C. A (assessment, 評価)
[D (diagnosis, 診断)] 126
- D. P (plan, 計画) 126
- Advanced** 管理栄養士として
現場で何を求められているか 128

第9章 栄養教育の実施

土江節子 130

- 1 栄養教育 (栄養食事指導)** 131
- A. 栄養教育 (栄養食事指導) の意義と目的 131
- B. 栄養食事指導の方法 132
- C. 栄養食事指導の流れ 133
- D. 栄養食事指導の媒体 136
- E. 栄養食事指導の要点 136
- F. 栄養食事指導結果の記録と報告 137
- G. 医療チームによる指導
(カンファレンスへの参加) 139
- H. 栄養食事指導システムのアセスメント 139
- 2 要支援者・要介護者への
栄養食事指導** 139
- A. 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・
介護療養型医療施設における栄養食事指導
..... 139
- B. 居宅者への栄養食事指導 139
- 3 行動科学理論と
カウンセリングの応用** 139
- A. 行動科学理論 139
- B. 認知行動療法 142
- C. カウンセリングの応用 143
- Advanced** 栄養教育 (栄養食事指導) の上達には 145

1 臨床症状や栄養状態のモニタリング

148

A. モニタリング項目 148

B. 期間 148

C. 情報源 149

2 再評価と修正 151

A. 食事・栄養摂取量 151

B. 食事・栄養摂取量以外の項目 151

3 栄養投与量と栄養補給法の再評価・修正 152

A. 再評価・修正の具体例 152

B. 医師と連携した栄養ケアのポイント 153

4 栄養ケア・マネジメントの評価 153

Advanced 数値だけを見るのではなく, 病態に臨む 155

◆ 付録1 臨床で役立つ医学用語一覧 監修/本田佳子・曾根博仁 157

◆ 付録2 診療報酬・介護報酬の栄養関連の詳細一覧 清水扶美 162

◆ 付録3 臨床検査の基準範囲一覧 竹内真理 168

◆ 付録4 栄養診断および栄養介入のコードと用語一覧 竹内真理 170

◆ 付録5 経腸栄養剤一覧 鎌田由香 174

◆ 文献一覧 180

◆ 索引 183

Column

診療報酬の改定とは? 24

管理栄養士の仕事場って? 35

CONUT 栄養評価法 45

居宅サービスにおける栄養改善サービス 46

地域連携栄養ケア体制の強化 47

体重の増減を考える 76

定期的なアセスメントによる必要栄養量の調整 77

間接熱量測定法による呼吸商 (RQ = VCO_2/VO_2)
のアセスメント 78

食事療法の先駆者 ~^{たかき かねひろ}高木兼寛 87

治療食の変革 91

食事・経腸栄養・経静脈栄養の栄養投与量を
計算するための基礎 104

食品, 栄養素の“副作用” 117

医師からの依頼と, 管理栄養士による
栄養食事療法計画が異なる例 133

問題点とその原因をとらえよう 134

再指導はどのように行う? 136

糖尿病療養指導士 137

行動療法とカウンセリングの人間観 140

症例報告のススメ 152

ニュートンに学ぶ 153